



# 志村学園

令和7年5月1日  
東京都立志村学園  
校長 並木信治  
高等部就業技術科  
第2号

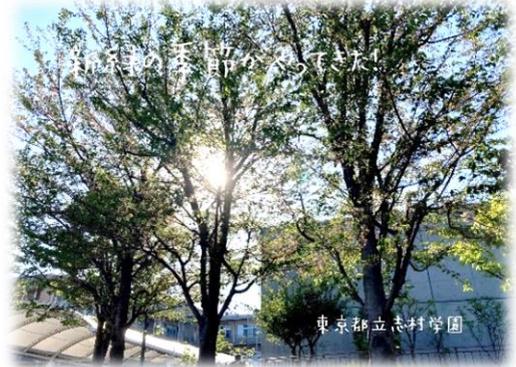
## 人権尊重教育推進校 2年目の取組み

副校長 加部 務

新緑のまぶしい季節となり、学校の草木もいきいきとその色を深めています。そして、新年度がスタートして約1か月が経ちました。この間、保護者会及び個別面談への御協力ありがとうございました。

さて、本校では昨年度より「人権尊重教育推進校」として、人権を正しく理解し、互いを思いやる心を育む教育活動に取り組んできました。2年目を迎える今年度は、より実践的な学びを通して、生徒が具体的な行動や態度に現わしていくことを目指します。そこで、3年生の江戸・東京ウォークⅢでは、生徒が行事の目標を達成するために、必要な場面で適切に携帯電話も使用できるように計画しています。事前に学習の機会を設け、公共の場でのマナーやインターネット上での言動の責任について考える授業を行い、行事における携帯電話使用のルールを生徒が主体的に考えて取り組みます。同じように、1年生は移動教室、2年生は修学旅行、そして、3年生は江戸・東京ウォーク FINALにおいても、必要な場面では携帯電話の利活用を計画しています。生徒が、これら学びの経験を実際の生活場面に生かし、「自分も相手も大切に」SNS利用につなげていきたいと考えています。

今年度も、保護者向けのセーフティ教室を5月の保護者会で計画しています。御家庭で生徒と一緒にSNS利用について考える機会になれば幸いです。引き続き、御理解、御協力をお願いいたします。



## 企業就労を目指すために

進路指導担当主幹 小林 敬典

新年度のスタートから1か月が過ぎようとしています。志村学園就業技術科の生徒は、どの学年の生徒も企業就労という目標のもと、日々の学習活動に取り組んでいます。毎日の登校と授業参加、部活動参加することが、企業就労するために必要な力を身に付けることとなります。その中で、進路指導が特に大切にしているのが「自己選択・自己決定」する力を身に付けることです。「自己選択・自己決定」する力を培うために、1年生は「知る」、2年生は「選ぶ」、3年生は「決める」というキーワードがあります。

1年生では、年間3回の就業体験で、どんな仕事があるのか、どんな会社があるのか「知る」こと。2年生では、現場実習を通して、やりたい仕事、行きたい会社を見つけて「選ぶ」こと。3年生は、いよいよ進路決定に向けて、行きたい1社を「決める」こと。現場実習、求人票、応募、採用選考と内定獲得までの道りが待っています。ただ、この道筋は誰ひとり同じ人はいません。自分の道は自分で選び、自分で歩みます。就業技術科の生徒の皆さんにとって企業就労は、学校生活の目標ですが、ゴールではありません。「継続は力なり」卒業後に長く働いて、社会に貢献できる人材として豊かな人生を歩んでほしいと願っています。保護者の皆様には、毎日の登校を支えていただき、生活リズムと健康管理をお願いいたします。御理解、御協力の程お願いいたします。

※学校前歩道橋の塗装工事が始まります。12月頃まで通行不能となり、登下校の経路が変更になります。本日(5月1日)方面別下校を実施し、経路確認をいたします。詳細は、後日改めてお知らせします。

## 新入生歓迎会

生活指導部担当 井上 大久

令和7年4月9日(水)志村学園就業技術科全校生徒が体育館に集まり、新入生歓迎会を実施しました。

今年度も昨年に引き続き2・3年生が主体となり、新入生を歓迎する気持ちを込めて、司会進行や委員会紹介、部活動紹介など、1年生がこれから志村学園で充実した生活を見通しをもって送るために準備を進めてきました。

当日は、校長先生、在校生からのお祝いの言葉に始まり、新入生が特別時程中に考えた各クラスのクラス紹介がありました。続いて、

昨年度、各委員会の委員長を務めた3年生が、活動内容や実績などについての説明を行う委員会紹介を行いました。部活動紹介では、部活動ごとにステージ上のスクリーンを使って動画で説明をする部や実際に普段行っている練習を披露する部など分かりやすく工夫した発表があり、会場全体が盛り上がりました。



最後は在校生と新入生の今年度の志村学園の生徒全員で校歌を歌い和やかな雰囲気の中新入生歓迎会を終えることができました。

1年生が早く学校生活に慣れ、充実した毎日が送れることを願っています。



## 全学年 身だしなみ講座

生活指導部担当 安部 和哉

令和7年4月28日(金)株式会社コナカより山崎真由氏、針谷卓也氏を講師にお招きし、全学年を対象に、身だしなみ講座を開催しました。昨年度に続き2度目の開催となり、今回は身だしなみ講座とマナー講座の2部構成で行い、服装だけではなく、言動や所作等も含めた身だしなみについて考える機会になり大変有意義な時間となりました。

制服の着こなしとマナーについての内容では、『制服の上着のボタンは全て留めて、フラップは出しておくこと』や、『スカートの丈はなぜ膝が隠れる長さがよいのか』など、制服の着こなし方に対する理由も説明していただき、制服を正しく着用する意味を深く理解することができました。また、制服は、連帯感を高めてくれるものであり、学校の代表として着る気持ちが大事であることや、日頃から装い・姿勢を意識することが大事であることを教えていただきました。また、マナー講座では、『自分が感じることは相手も感じていること』として、挨拶やお辞儀の姿勢、敬語の使い方、企業訪問時のマナー等について教えていただきました。講師の山崎様からは、「積極的に挙手する姿や、挨拶の声、お辞儀の仕方がとても良い」とお褒めの言葉をいただきました。

志村学園では、企業就労を目指すにあたって社会で認められる行動を常に意識することを大切にしています。その中で、身だしなみは最初に自分で整えることができる基本的な行動であり、自分だけではなく、相手を不快にさせない『人のため』の視点が重要であることを年度始めに全校でしっかり学ぶことができました。この学びを、今後の学校生活に活かしてほしいと思っています。

